

令和5年度 学校経営シラバス

北海道天塩高等学校 令和5年4月6日

校 訓		教 育 目 標		重 点 目 標	
身はすこやかにたくましく 清く正しく明朗で 知性豊かな人となれ		1 真理を探究し創造する力を育てる。 2 豊かな情操と強い意志を培う。 3 強健な体力とたくましい実行力を養う。 4 人格を磨きよりよき社会人を育成する。		1 生徒一人ひとりを大切にする授業を創意工夫することにより、理解の深化と学ぶ意欲を喚起し、自ら学び続ける態度の育成に努める。 2 基本的な生活習慣の確立と自律心とを育成し、社会に貢献する人材の育成に努める。 3 思いやりの心の育成とたくましい身体づくり、気力・体力の充実に努める。	
め ざ す 学 校 像 1 生徒の学ぶ意欲を喚起できる学校 2 生徒一人ひとりの進路希望を実現できる学校 3 生徒・保護者・地域の期待に応えられる学校				め ざ す 生 徒 像 1 自ら課題を発見し解決に向けて努力する生徒 2 自他を尊重し協力して目標を達成する生徒 3 心身ともに健康で失敗を恐れず挑戦し成長する生徒	
育 成 を 目 指 す 資 質 ・ 能 力 1 課題解決能力(思考力・判断力・表現力・創造力) 2 協働力(協働性・情操力・社会性) 3 自己成長力(自律心・実行力・継続力)					
経 営 方 針 1 生徒一人ひとりの可能性を追求し、生徒と教師が信頼感を高めながら全人格の触れ合いの中で心豊かな教育活動を展開する。 2 学校課題の解決と教育改革に対応するため、組織としての機能をより高め、協働体制のもとで教育活動を推進する。 3 家庭・地域と連携し、教育環境の整備・充実を図る。また、異校種との研修機会を確保し、教職員の指導力向上を図る。 4 業務の効率化により心身の健康を保ち誇りとやりがいのある環境を整備し、効果的で質の高い持続的な教育活動の展開に努める。					
教 育 活 動	領 域	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	
	学習教科指導	確かな学力の育成	1 学習意欲の喚起と理解を深めるための授業改善 2 学習習慣の定着を図るための学習状況の把握 3 個々の学力に応じた I C T の活用 4 学力を適切に測るため、観点別評価の検証と改善	☐ シラバスと授業評価を活用した授業改善 ☐ 生徒の学習状況調査の定期的な実施と支援体制の確立 ☐ 学び直しから大学進学までT-baseやClassi等を活用した個別最適な学びの推進 ☐ 探究活動を指導するための校内体制の強化 ☐ 校内研修（ICTの活用など）の充実 ☐ 観点別学習評価実施に伴う課題の検証と改善	
	生徒指導	基本的生習慣の育成 社会性の涵養	1 基本的な生活習慣の確立支援 2 仲間意識の高揚 3 いじめ防止と望ましい人間関係を形成する力の育成 4 自治意識の涵養	☐ 挨拶・礼儀作法等を習慣化するための指導と実践 ☐ SNS利用におけるマナーやルール遵守の指導と生活リズムを確立させる指導の充実 ☐ 学校行事等を通じた集団づくりの推進とコミュニケーション力の向上 ☐ 部活動の推進と地域と連携した取組の検討 ☐ 教育相談の充実と記録化による職員全体での情報共有 ☐ 生徒会やボランティア活動など、生徒の主体的な取組の推進	
		学校保健 学校安全	1 健康増進と自尊意識の涵養 2 心身の健康管理、生命尊重（安全行動）、環境美化等に関する啓発活動と意識向上 3 教育相談体制を維持し、発達を支援する指導を充実させる。	☐ 委員会活動の活発化と薬物乱用防止、性教育、交通安全、防犯等の各教室や講話等での指導の充実 ☐ 防災指導の充実と救急知識の向上 ☐ スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーと連携した、個々の生徒への迅速かつ適切な対応 ☐ 特別な支援が必要な生徒の指導計画の作成と関係機関との連携	
	進路指導	キャリア教育の一層の充実	1 自己理解の促進と進路意識の高揚	☐ キャリア教育の視点を踏まえた進路シラバスの効果的な活用 ☐ 「教科・科目選択」指導の充実と、学年・教科との情報共有 ☐ 生徒の学習状況および模試等の分析、課題の共有化 ☐ T-baseの活用および公設民営塾等との連携、各種検定や模試等への取組促進 ☐ 進路説明会・オープンキャンパスへの参加促進	
2 将来設計能力の育成			☐ 職場見学やインターシップ等による職業観の醸成 ☐ 総合的な探究の時間を活用した計画的な取組の推進 ☐ 保護者進路説明会や、面談等を活用した指導の充実 ☐ 外部講師や社会人講話など、地域の人材を活用した取組の推進 ☐ キャリア・パスポートの活用による系統的・組織的指導の充実		
学 校 経 営	信頼される学校づくり	開かれた学校づくり	1 ICTを活用した情報発信 2 コミュニティスクールによる地域および保護者との連携 3 評価と改善を一体化したカリキュラムマネジメントの充実 4 他校種との連携の推進	☐ 生徒、保護者、地域への学校教育目標等の周知 ☐ 学校教育目標等に根ざした教育活動の計画・実施 ☐ 中学生・保護者・地域等を対象とした授業公開・学校紹介等の取組の検証と改善 ☐ H P や各種通信・報道機関等を活用した積極的な情報提供と日常的な情報交換 ☐ 地域に必要とされる人材育成の観点からの教育課程と教育活動の点検と改善 ☐ 高大連携および小中学校との連携した取組の推進	
	組織運営	協働体制の確立と積極的な経営参加	1 適切な業務分担と協働体制の整備・充実 2 時間外勤務の縮減	☐ 目標達成に向けた責任ある業務遂行と、協働体制の構築 ☐ 分掌による事前調整および学年との連携 ☐ 分掌・学年会議の定例化と記録ファイルの作成 ☐ 校務の組織化・効率化による、多忙感の改善	
	教員の資質向上	生徒の実態を踏まえた職能向上	1 服務規律の厳守と校内研修の計画的実施 2 教職員個々の目標管理の推進	☐ 日頃から相互啓発できる職場環境の充実 ☐ 課題に即した研修計画の立案と自己研修の奨励 ☐ 個別面談を通じた目標管理と教育公務員としての意識の醸成 ☐ メンタルヘルスの理解促進と実践	

